

～ここから下は記入しないでください～

照合欄

1.R7年課税世帯 2.R7年度町民税非課税世帯・生活保護世帯 3.年度末年齢75歳以上

※町の受診券ではマンモグラフィ検査をしなければオプションの超音波検査を受診することはできません。受診券を使用せずに超音波検査だけを希望する場合は受診される医療機関へお問い合わせください。

(国の指針に則り市町村で行う乳がん検診の検診項目は問診とマンモグラフィであり、マンモグラフィなしの超音波検査だけは国の指針に該当しないため)

豊胸手術

マンモグラフィ検査では2枚の板でバストをはさみ、強く圧迫します。シリコンバッグ挿入法による豊胸手術を受けている場合、バッグが破損する恐れがあるため町との契約医療機関での受診はできません。ヒアルロン酸注入法や脂肪注入法で豊胸を行うと触診や超音波検査で乳がんと間違われることもある。

V-P（脳室-腹腔）シャント

髄液シャント術：V-P（脳室-腹腔）シャントの概略

頭蓋骨に小さな穴をあけて頭蓋骨と脳の中の膜を開き、脳室カテーテルを側脳室（左右に一つずつある側脳室のうち通常右側）に挿入します。皮下にシャントシステムを通すため頸部と側腹部に小切開を加えます。

脳室の圧を調節するバルブを所定の位置に挿入したあと、トンネル状の手術器具を使って耳の後ろ、首、胸の皮下に腹腔カテーテルを通しておきます。皮下に通したカテーテルと脳室カテーテルを接続します。脳室からの脳脊髄液の流出が良好なことを確認した後に腹膜を小切開して腹腔内に腹腔カテーテル端を挿入します。これで脳脊髄液は脳室からチューブを通して腹腔内へ流れ込むわけですが、腹腔内では腹膜から液は吸収され体の中の循環にもどります。

ポート

皮下埋め込み型カテーテルのことで、中心静脈カテーテルの一種。

皮下に埋め込まれたポートから中心静脈までは、カテーテルがつながるため、経皮的にポートに穿刺することで、中心静脈に薬剤を投与できる仕組みになっている。

ペースメーカー装着者

- 1.内外斜位方向撮影はCTより管電圧は低いですが直接ペースメーカー（PM）にX線が照射される。
- 2.PMを挟み込んだり、乳腺を引き出したり、広げたりというポジショニングの過程でPMの位置がずれたりリード線に支障をきたす恐れがある。
- 3.撮影技師の技術力はいろいろであり、PM装着者を安全に撮影できる保障は得られない。
- 4.多くの検診者を扱う集団検診では、注意を払えない可能性があり、PMを破損するなどの事故が考えられる。

NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構HPより